

# 事業報告書

2022年度(2022年8月から2023年7月)

特定非営利活動法人コミュニティリンク

## 2022年度の振り返り・総括

### <事業活動における主なポイント>

主な事業の1つとなっている「起業プラザひょうご運営事業」では、会員登録数が164名(2023年7月末)となり、リニューアル移転後に目標としていた数値を達成できた。また、2023年2月のシンガポール訪問を契機に、起業プラザひょうごのシンガポール拠点開設や、スタートアップVISA対応・外国人起業家支援を強化する等、起業プラザひょうごのグローバル事業が立ち上がってきた。

Urban Innovation Japanのプロジェクトにおいては、導入地域が延べ22の自治体に広がり、スタートアップ支援、自治体DX、地域課題解決、新たなテクノロジー実証等、導入地域によって目指す方向性が多様化しつつある。

また私たちUrban Innovation Japanに参画する運営メンバーも増えており、新しい社員への人材研修の強化、プロジェクトマネジメント強化や日進月歩するテクノロジーの業務知識習得等の運営体制強化にも力を入れている。

その他、主な事業活動の紹介は次ページ以降を参照。

### <法人運営における主なポイント>

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、ハイブリットワーク(仕事のスタイル)のメリットやデメリットを認識しながらも、どのように業務に取り入れていくのかがより一層重要になっていると考えている。加えて、働き方の多様化や職場環境改善、業務効率化をより一層推進していくために、ハイブリットワークを推進するための仕組みづくり(業務を超えるコミュニケーション機会創出や自主的なスキル習得機会の創出等)を進めてきた。

# コミュニティリンク の活動理念

ビジョン(めざす未来や社会の姿)

誰もが「まちの未来」に挑戦できる地域社会

ミッション(すべきこと)

人をつなぐ。地域をつなぐ。テクノロジーで社会を変える！

私たちは人を繋ぎ、地域を繋ぎ、テクノロジーの社会実装によって持続可能な地域社会を実現します。

スローガン(行動指針)

1. 自らがまちに飛び込もう！  
… 住民目線・プレーヤーとしての力
2. まちの本質を見極める力を養おう！  
… まちの研究者であり実践者としての力
3. 身近な相談相手に在り続けよう  
… 相談からきっかけを生み出す  
NPOの法人格をいかし、さまざまなパートナーシップによる事業化
4. 10年先を見た仕組みと仕掛けづくりに挑戦しよう！  
… 縮退する日本社会における持続可能なモデルへ

## 起業プラザひょうご運営事業

2023年3月に実施された運営管理業務のプロポーザルで継続採択され、引き続き、起業プラザひょうごの運営を担うことができた。

会員数は7月末で164名を数え、堅調に推移している。イベント開催も増えており、2022年4月～2023年3月の1年間でイベント数110回、2259名の参加者数となっている。

また、2023年4月からは、スタートアップVISA対応や外国人起業家支援にも動き出しており、グローバル拠点名称を「Kobe-Hyogo innovation Port」として、起業家のグローバル進出支援を立ち上げた。

その1つの成果として、2023年7月にはシンガポールに海外拠点を開設するなど、対外的なイベントや提携等を推進している。

今後も県内の起業家はもちろん、海外展開も含めた様々な事業ステージに応じた多層な支援を提供できる県内唯一の起業家コミュニティとして発展していくことを目指していく。



### 支援メニュー

1. KIP会員のシンガポール進出時およびシンガポールに拠点を置くスタートアップの日本進出時の窓口（インバウンド・アウトバウンド窓口）

なお、KIP会員は、One&Co利用時の利用料助成制度あり

2. エバンジェリストを任命し、起業プラザひょうご会員に以下の支援を提供します。

- シンガポールの最新情報提供（オンラインイベント開催）
- 個別メンタリング
- 現地アテンドサポートや進出におけるキーパーソン紹介

### エバンジェリスト



伊藤 隆彦 氏  
General Manager, One&Co  
<https://www.oneandco.sg/ja/>

日本とシンガポールを繋ぐビジネスプラットフォームとして、インバウンド・アウトバウンド支援から新たな仕組み作りまで、多岐にわたる活動を行っている。2019年6月にシンガポールへ移住。



ステファン・フォン氏  
CEO, ELXR  
<https://elxr.sg>

フィットネスコミュニティと個人に合ったトレーニングプログラムを組み合わせたフィットネスアプリを開発・提供するシンガポール発スタートアップ。2020年1月～起業プラザひょうごに入居・登記。

経済

兵庫県の起業プラザがシンガポールに海外初拠点 県内新興企業の進出を後押し

2023.07.03

📍 公式サイト 📄 シェアする 📄 印刷



起業プラザひょうごの拠点が開業された「One & Co」のシンガポールのラウンジ (1) R 東日本東南アジア事業開発部

兵庫県は、起業支援施設「起業プラザひょうご」（神戸市中央区）の海外初拠点をシンガポールに開設した。7月1日付、優れたビジネス環境を背景に、シンガポールには世界中からスタートアップ（新興企業）が集まっており、現地に拠点を設けることで、県内のスタートアップの海外進出や東南アジアでの事業拡大などを後押しする。（西井由比子）

この記事は **会員限定** です。新聞購読者は会員登録だけで読者をお読みいただけます。

神戸新聞NEXT 2023. 7. 3掲載分

<https://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/202307/0016544262.shtml>



2023.3.20  
HYDROGEN INDUSTRY  
KANSAI-SWITZERLAND NETWORKING  
MEETUP 2023



2023.6.13  
ADVICE FROM GOODMAN

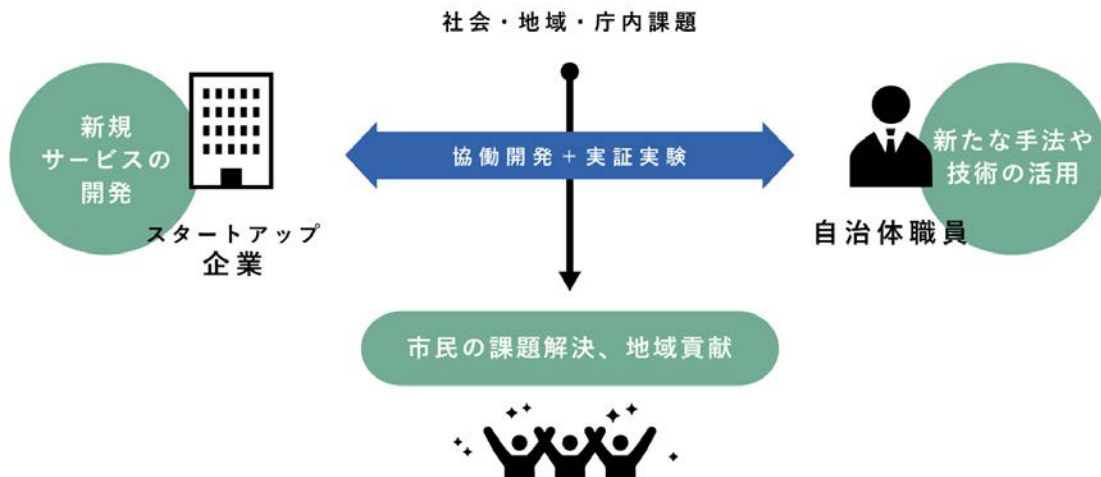


2022.12.23  
クリスマス会

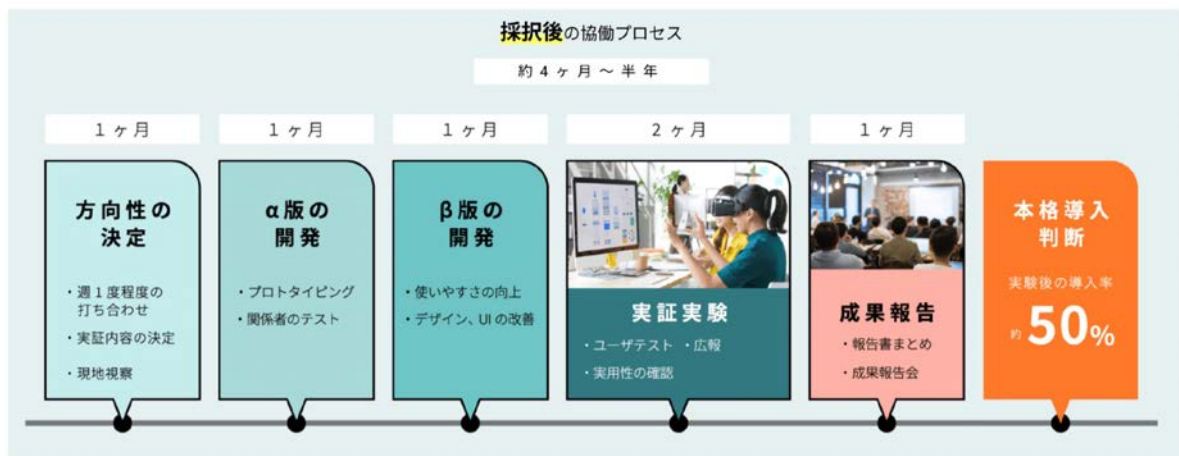


## Urban Innovation Japan

神戸市から生まれた、自治体の課題とスタートアップ・民間企業をマッチングするオープンイノベーション・プラットフォーム「Urban Innovation Japan」。  
地域・社会・行政課題に詳しい自治体職員と柔軟な発想や優れた技術力を持つ企業が協働し最適な解決策・サービスの検証を行うプロジェクトである。



### 課題採択後から協働プロセス



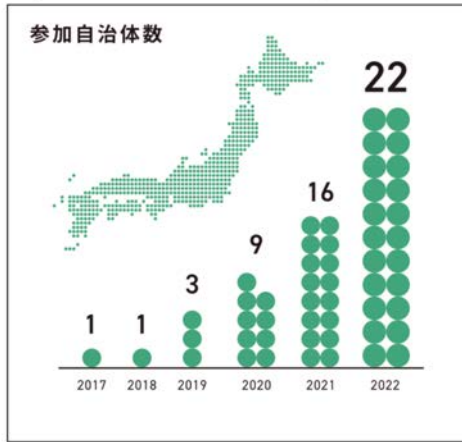
2018年度に本格的に開始した神戸市との「Urban Innovation KOBE」を皮切りに、2019年に「Urban Innovation JAPAN」として名称変更・全国展開を開始し、現在では全国累計22の自治体との協働プロジェクトが生まれている。

2022年度は、神戸市、豊橋市、名古屋市、豊中市、小牧市、岡山市、安城市、長久手市、西宮市、山口県、兵庫県、愛知県でプロジェクトに着手してきた。

各地域の取り組みは、公式ホームページを参照(<https://urban-innovation-japan.com>)

## 参加自治体数と課題掲載数の推移

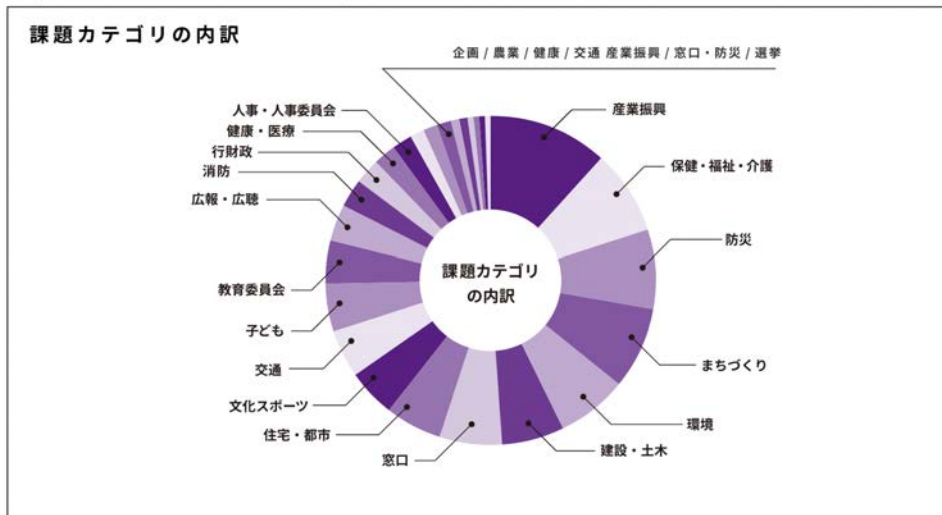
参画する自治体が拡大中！



応募できる課題も増加中！

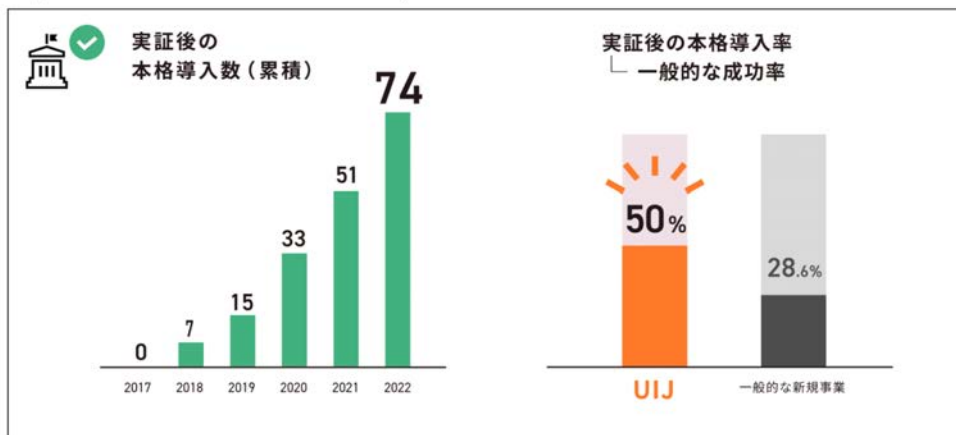


課題のジャンルも幅広く掲載



## 実証後の本格導入数の推移と、導入率

UIJでは、自治体の本格導入率が高い



## ひょうごTECHイノベーションプロジェクト

兵庫県内にある様々な社会課題・地域課題について、主に県内の起業家や事業者が有する情報通信技術を中心に、ものづくりや建築・土木等の工業技術などを活用し、その課題解決を図っていくプロジェクト。

2022度は神戸市、三木市、丹波篠山市、朝来市、新温泉町、県警の6つの課題を取り上げプロジェクトを実施した。

具体的には、新温泉町の「子どもが安心できる鳥獣対策求む！シカ等の侵入から学校生活を守りたい！」という地域課題に対して、超音波を活用したシカの忌避機材を活用する実証実験を行った。その結果、忌避機材を設置した範囲では、設置前と後を比べると糞害が少なくなる成果を得ることができた。

### 県内にある様々な課題を 官民が手を取って 解決を目指す

HYOGO TECHNOLOGY INNOVATION PROJECT



募集受付終了

2022.06.07

目指せ“除草”革命！道路や公園の隙間に生える厄介な雑草を根絶し、まちをキレイに！

採択企業  
小泉製麻株式会社  
課題地域  
📍神戸市



募集受付終了

2022.06.07

誰一人取り残したくない！コロナ禍で以前よりコミュニケーションが難しくなった難聴者を支援したい！

採択企業  
株式会社 時空テクノロジーズ  
課題地域  
📍三木市



募集受付終了

2022.06.07

関係人口のその先の取り組み『関係人口2.0』を、丹波篠山モデルとして実装したい！

採択企業  
EXest株式会社  
課題地域  
📍丹波篠山市



募集受付終了

2022.06.07

交通安全×AI・ビックデータ！子どもたちをまもるため、通学路の交通事故リスクを減らしたい！

採択企業  
朝日航洋株式会社  
課題地域  
📍朝来市



募集受付終了

2022.06.07

子どもが安心できる鳥獣対策求む！シカ等の侵入から学校生活を守りたい！

採択企業  
イーマキーナ株式会社  
課題地域  
📍新温泉町



募集受付終了

2022.06.07

SNS上に関連した犯罪から子どもたちを守りたい！AIを活用したサイバーパトロール

採択企業  
株式会社Spectee  
課題地域  
📍兵庫県警察

## SDGsチャレンジ運営事業

兵庫県と神戸市は、革新的なビジネス手法を用いて経済成長を牽引し、社会課題の解決に積極的に取り組む起業家や中小企業を支援するSDGs CHALLENGEプログラムを2021年度から実施しており、2022年度は第2期目として、引き続き弊社が本プログラムの運営を担当することができた。

主に、以下の取り組みを実施し、集中的な事業開発支援と海外進出に向けた支援を提供することで、地域発のイノベーション創出とエコシステムの強化を目指した。

以下、主な取り組み事項。

(1) スタートアップコミュニティの形成：

総計11回開催。

(公開セミナー:4回、参加起業家向けセミナー:5回、マッチングイベント:1回、最終報告会:1回)

(2) インキュベーション機能の提供：

2021年度・2022年度採択企業に対してインキュベーションの支援。

2022年11月18日には関西経済連合会の協力・支援のもと、ビジネスマッチングを実施。

(3) スタートアップ支援プログラムの実施：

国内外から多数の応募があり14社を採択。

個別メンタリング・ヒアリングの実施や、採択企業の経営者同士のコミュニティ創出・形成を目的とした「FoundersMeeting」を実施した。

最終報告会は、2023年3月18日に、三井住友銀行神戸本部ビル前の公開空地にて市民参加型デモデイ「SDGsDay2023」を開催。

(4) 海外での調査・実証事業支援の実施

展示会出展や海外での市場調査や実証事業を支援する経費支援を実施。

および、私たち運営メンバーも海外渡航を行い、Social Impactを掲げる海外エコシステムパートナーやコミュニティの開拓・関係構築を実施した。

その他、公式WEBサイトを参照(<https://sdgs-challenge.jp>)

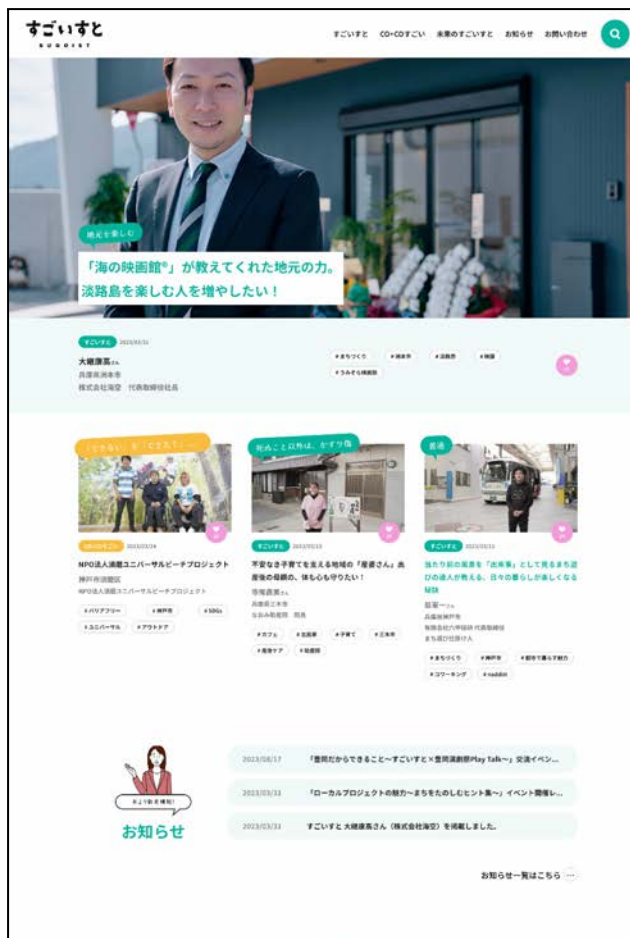




## WEBマガジン「すごいすと」運営事業

「すごいすと」とは、兵庫県を元気にしている身近なすごい人のことで、本事業は、そのような「すごいすと」を発掘し取材しWEBマガジンとして情報発信する事業。  
(WEBサイト) <https://sugoist.pref.hyogo.lg.jp/>

今年度は、読者とすごいすとを繋げていく仕組みとして、WEBサイトで取り上げた「すごいすと」、リアルで繋がり実際の声を聞く仕組みづくりとして、ハイブリット型のウェビナーを初めて企画・開催した。アンケート結果も好評で、引き続き「すごいすと」と読者の繋がりが深まるような仕組み作りの構築を目指し、例えば、すごいすとの活動拠点を活用したイベントを企画し、実際の声・実際の現場を見て繋がれるような交流会の開催を検討していく。  
また、「すごいすと」の事業開始から10年を迎え、近年では地域情勢や地域課題の変化にともなって、参画と協働に関する意識やキーワードも変化していると感じている。  
これまでの10年で培ったコンテンツやネットワークを生かし、未来の兵庫県の地域活動を担う「挑戦者」や「実践者」を繋げていくWEBメディア「すごいすと」を目指して行かなければならないと考えている。





## 川西市 総合計画策定支援事業

川西市の第6次総合計画の策定を支援する事業。  
 総合計画策定に際し、川西市民会議「かわにしミライ会議」を合計5回開催した。(2023年1月29日午前・午後、2月4日午前・午後、3月5日)  
 今後は、総合計画の冊子としてとりまとめ、川西市より発行される予定(2023年度末予定)。



**2,000人** 川西のあり方をみんなで考えたいと思い、2,000人に「かわにしミライ会議」のお知らせを送りました。これも何かのご縁！川西のミライについて、一緒に話しませんか？  
**156,000人**

---

**Day 1** 1月29日 日曜日 まちづくりカード

**会場** 川西市役所 地下1階「HUG CONNECT」 **午前部** **or** **午後部** 選べます

まず1日目は、誰でも・気軽に・楽しく話せる「まちづくりカード<ローカルダイアログ>」を使って、川西市のミライについて話し合います。

**Day 2** 2月4日 土曜日 アイデアディスカッション

**会場** 川西市役所 地下1階「HUG CONNECT」 **午前部** **or** **午後部** 選べます

2日目では、前回話し合った川西市のミライを実現するために、優先的に取り組むことをグループで話し合いながら、アイデアを生み出します。

**Day 3** 3月5日 日曜日 テーマ別ディスカッション

**会場** アスタホール **午前部のみ**

3日目は、1日目・2日目に話し合ったアイデアを振り返りながら、それぞれのテーマごとにグループに分かれ、議論を深めます。

---

**午前部** 10:00～12:30 **午後部** 15:00～17:30

**申込** **電話** 川西市市民会議室 072-740-1120 (直通)  
 平日 9:00～17:00 (受付 9:30～16:45) (休) 9:30～16:45 (受付) **WEBフォーム** 24時間受付しています！

申込締切日：令和5年1月13日(金)



## その他、法人運営に関する事項

組織・業務の拡大に伴い、組織ガバナンスの強化及び職場環境の改善を進めており、具体的な取り組みとしては以下の通り。

### セキュリティと情報に関する取り扱いの周知徹底

- 入社時のオンボーディング等で個人情報の取り扱いやテレワーク時におけるPCの取り扱い、メール操作等に関する周知を徹底。
- 上記の他、テレワークを行う職員全員に覗き見防止フィルタの支給。

### 採用活動の強化

- 多様化する業務を担える人材確保が年々困難となる中、副業人材や業務委託に頼りすぎることの無いよう、社内人材の育成強化を目指し採用・広報活動を強化。

### オンラインランチョンの定期開催

- 勤務場所や担当事業(作業)を超えた職員同士のコミュニケーション促進を目指し、月一回の社内定例会後に実施。
- オンラインでのランチョンを2023年6月より実施。

### 部活動(自主学習)の奨励

- 業務にも繋がる自発的な学習や成長を推進することを目的に、職員による部活動の取り組みを2023年5月より開始。



## 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
地域ICT利活用に関する事業	オープンガバナンス推進関連事業	8月から7月末	兵庫県内	3人	自治体・NPO・市民活動団体・企業 10団体 兵庫県民 10,000人	235,838
	地域ICT利活用支援事業	8月から7月末	全国	22人	自治体・NPO・市民活動団体・企業 60団体 兵庫県民 160,000人	
	起業促進事業	8月から7月末	全国 主に 兵庫県内	33人	自治体・NPO・市民活動団体・企業 60団体 兵庫県民 55,000人	
	講師・コンサルティング事業	8月から7月末	全国	2人	NPO・市民活動団体・企業・学校 30団体	
	シビックテック推進事業	8月から7月末	全国 主に 兵庫県内	3人	NPO・市民活動団体・企業・学校 30団体 市民・県民 10,000人	